

民報

あばしり

NO.933

2013・8・25

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三三・四四五八  
F 四三三・四四五七



# 「二度と戦争はしない」と誓おう!

8日本共産党網走市委員会は、終戦記念日の15日に飯田・松浦両議員が午前10時から市内数ヶ所で、平和を誓う街頭宣伝



安倍首相は、戦没者追悼式の式辞で、歴代首相が表明してきたアジア諸国に対する加害の「反省」や「不戦の誓い」を表明せず歴史を逆行させる姿勢を示している。  
しかし、日本は、第2次世界大戦の教訓から2度と戦争はしないと平和憲法をつくり9条で、戦争を永久に放棄し、戦力を持たない、国の交戦権は認めないと世界に誓ったと強調し、平和憲法を守り生かす社会にしましょうと訴えました。

## 第46回網走市母親大会

母親大会の唯一のスローガンは「生命を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」です。今年の講演の講師は、小森陽一東京大学大学院教授で全



国九条の会事務局長は「今こそ、憲法9条の輝きを日本に、そして世界に」：戦争する国にもどるのは「ゴメン!」と題して1時間30分の講演でした。

1つには、日本国憲法の来歴、2つには、安倍自民が圧勝した第23回参院選、3つには、参院選後の安倍晋三政権と国民との対決点、4つには、草の根で安倍晋三政権と対決していくという内容で、安倍自公政権の改憲策動を見抜き押し返す多数派の形成が必要であることが強調されました。参加者はおよそ80人を超え、会場いっぱいでした。最後に、大会アピールを採択して終了しました。

## いよいよ東奔西走

多くの反対を押し切ってTPP交渉に正式参加した日本政府は、何を主張し、参加国からどのような言及があり、交渉の到達点がどうなっているのか全く明らかにして

いません。これはTPP交渉が協定発行後4年間秘密扱いの協定だからです。この守秘義務、コメ、小麦などの重要5品目や食の安全問題で、国益を損なうような譲歩をしようとも、国民には、守秘義務を盾に説明を拒むことができるからです。

結局、国民が交渉の結末を知るのには、国会の承認段階になってからです。これでは審議も短くTPPの可否を国民的審議にすることは難しいと言われています。

他方、米政府が、TPPの秘密扱いの協定文案を与党議員の一部に閲覧を許可していることが明らかにになりました(「朝日」8月7日付け)。さらに多国籍企業に、TPP交渉情報を伝えることも明らかにになりました。まさしく多国籍企業がTPP交渉を主導し、情報を共有しながら、結論を国民に押し付けるといふ構図が秘密協定という点からも明らかになっています。TPP交渉は即時撤退しかありません。

## 暑い暑い網走神社祭

暑い暑い網走神社祭が終わりました。お祭り期間は、いつものように忙しい日々でした。

特に今年は、13日に新聞の配達で3時半に起きることから1日の始まりだったので、厳しかったです。14・15日は昼食も夕食も食べる時間がなく、お菓子やパンをつまみながら空腹をごまかす状況でした。

それでも出店を見るために懸命に仕事を終わらせて出店に行きました。金魚すくいでは4匹すくいました。忙しいお祭り期間も夫婦2人で乗り切りました。仕上げは17日からの野鳥用の鳥小屋作りで、豊一豊程度の大きさですが、大変でした。

見るに見かねてか、近所の方が手伝ってください17日の午後から19日の午後まで実働2日間で出来上がりました。大工に見られると恥ずかしいのですが、ど素人の作品としては、まずまずでしょう。それにしても、いやあー疲れ果てました。

## 流水

「ぼうさまになったからす」(文・松谷みよ子 絵・司修)の絵本を、後期が始まったM小で読もうと思っ

る。▼カラスがたくさんいる村があった。ある年に戦争が起こった。何年も続き、村の男達は海の向こうの戦いに出て行った。そして次々と死んでいった。ふと気がついたら、カラスが1羽もいないことに気がついた。一人のばあ様が「おらあ知ってる。お用いに行っただ。坊様おらたちの代わりになあ」戦争が終わって、カラスはむれてる。カラスよ二度と海を越えるな。▼夫や息子を失った悲しみ、からすの坊様に弔いを託した話を、松谷みよ子が1956年信州で民話採訪した。▼この夏の各新聞で戦争体験者の語りが紹介された。N紙「私は生き証人です。」と、91歳の元日本兵は、「安部首相は強制連行の証拠はないと言いが、自分が証拠です。証言活動が私の使命」と。侵略戦争参加した事実を一面に紹介された。日本に生まれた自分の国の歴史をしっかりと振り返って生きていかなければならない。2度と戦争のできる国にしてはならないと深く厚く届いた記事だった。▼「カラスになったぼうさま」の絵本、年に一度のこの時期に、心を込めて読もう(て)